

<p>パーフェクト・ストーム (130分)</p> <p>☆</p>	<p>監督 W・ベーターセン 主演 ジョージ・クルーニー</p> <p>「完全な嵐」が来るのも気がつかずに、その真っ只中へ意地とプライドのために嫌がる乗組員たちを連れて飛び込んでいく船長。それで水に浸かったときに、ゴメンねといわれたってねえ。。好きじゃない人もいい映画に出ると良く見えることがあるけれど、J・クルーニーはやっぱりだめみたい。海難救助のために嵐の中、ヘリコプター飛ばす人たちのプロ意識のほうがすごかった。</p>
<p>救命士 (122分)</p> <p>☆</p>	<p>監督 M・スコセッシン 主演 ニコラス・ケイジ</p> <p>人を助けようと高い志を持った人の話だと思って観てはいけない。助けられなかった少女の亡霊に悩む救急救命士N・ケイジは、誰もが病んでいる中でも増して暗く病的。立派な職業と見られることを拒否して、非日常にいる救命士の苦悩を綴っていて、そこには共感も感動もない。原作者は救命士の経験者とのこと。</p>
<p>ダブル・ジョパディー (105分)</p> <p>☆</p>	<p>監督 B・ペレスフォード 主演 トミー・リー・ジョーンズ</p> <p>大量の血痕とナイフを残し忽然と姿を消した夫への殺人の罪で服役する妻。そこで、夫が200万ドルの保険金を持って名前も変えて生きていたこととダブル・ジョパディー(二重処罰の禁止)という法律があることを知る。。悪役の夫はせいぜい小悪人止まり。T・L・ジョーンズも振り回されてる情けない男。復讐よりも子供を取り戻すという強い母親が主役の物語。</p>
<p>シックス・センス ☆☆☆☆</p>	<p>監督 M・ナイト・シャラマン 主演 ブルース・ウィルス</p> <p>がみちゃんが観ない人とは話が出来ない、というから再びの挑戦。ちーっとも怖くなかった。返って、好みの映画。B・ウィリスも良いです。切ない映画でした。</p>
<p>ゲーム (128分)</p> <p>☆</p>	<p>監督 D・フィンチャー 主演 マイケル・ダグラス</p> <p>がみちゃんが観ない人とは話が出来ない、というから一度ちらっと観てつまらなさそうだったけれど、仕方なく挑戦。う～ん。。なんか変な話。このテの話だったら「トゥルーマン・ショー」のほうがまるで好みだし、この監督なら「セブン」のほうが面白い。</p>
<p>ストーリー・オブ・ラブ (96分)</p> <p>☆</p>	<p>監督 R・ライナー 主演 ブルース・ウィルス</p> <p>いさかいの絶えない結婚 15年目の夫婦が、二人の子供がサマーキャンプで留守にする間、試験的別居に踏み切るが。。所々に入るカメラに語りかける手法も目新しいものではなく、日常を大げさに描いているようでいて、でも共感はない。B・ウィルスの若い頃という設定の姿には、笑いを通り越して不気味。デミ・ムーアとの現実を抱えるウィリス曰く、『私生活での体験が脳裏に保存されている。15年前だったらこの演技は出来なかったね。。』ふ～ん。。</p>